

山ふところの学び舎に

虻田中学校の足跡をたどる

これまで多くの卒業生を輩出してきた虻田中学校。今春、虻田中は有珠山の懷に抱かれたなじみ深い校舎に別れを告げ、虻田小学校に移転します。今号の特集では、虻田町の、そして洞爺湖町の教育を支えてきた虻田中の校舎の歴史を振り返ります。（協力・虻田郷土研究会）



虻田中学校現校舎ができるまで

1950年1月	第1期工事竣工（6教室・宿直室平屋建て）
1950年2月	新校舎へ移転。分散授業（本校3年3学級・第1分校2年2学級・栄分校1年4学級）
1951年2月	第2期工事竣工（2階建て8教室）
1951年4月	校庭整地作業を町民の勤労奉仕で実施
1951年12月	校舎増築工事竣工（2階建て4教室）
1953年1月	屋内体操場の落成式
1967年	鉄筋2階建校舎（現在の一線校舎）完成
1971年	新校舎第2期工事完成
1973年	屋内体育館新築完成
1975年	鉄筋2階建校舎完成（昭和41年度開始改築計画完了）

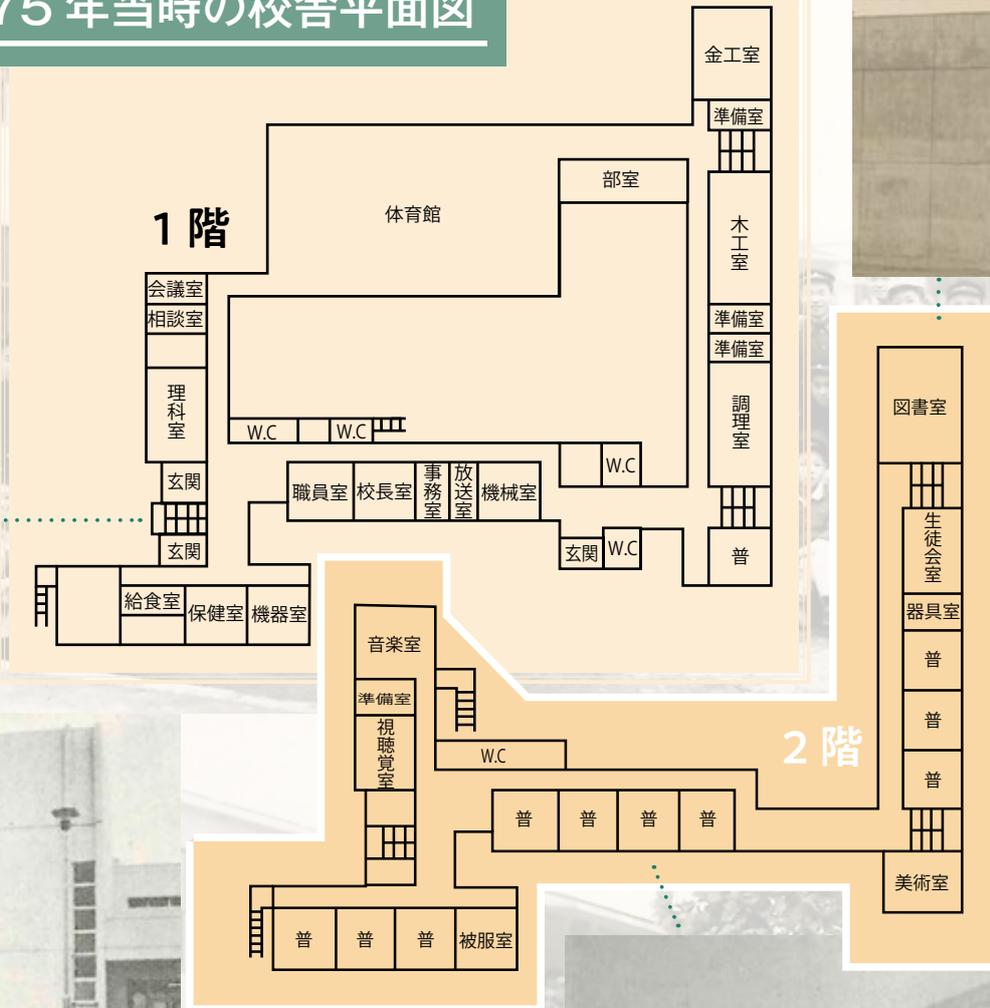
虻田中学校が開校したのは、第二次世界大戦の終結から2年経った1947年5月のこと。戦後の混乱の影響もあり、当初は虻田小学校校舎の一部を利用して開校にこぎつけました。

開校からほどなく、校舎問題について町民協議会による議論がスタート。53年1月の屋内体操場の完成をもって現校舎の前身となる旧校舎が完成しました。

そして、66年からは現在に続く鉄筋校舎への改築事業が始まります。翌67年には「一線校舎」が完成。同年7月の広報あぶたには、記念して行われた仮装パレードの写真などが掲載され、どれほど待ち望まれた施設だったのか、当時の熱気を伝えています。

全校舎が完成したのは74年と8年間を要しましたが、歴史ある学び舎から多くの生徒が巣立ちました。

1975年当時の校舎平面図



1 1967年(昭和42年)
一線校舎が完成
新校舎で最初に完成したのが一線校舎でした。図書室や調理室、美術室は現在に至るまで当時と変わらず使われました。



3 1975年(昭和50年)第三期工事が完了
第三期工事の完了をもって現校舎が完成。最後の新校舎は理科室、音楽室、給食室など多くの機能を備え、虻中生の3年間を支えました。生徒用・職員用が隣り合った玄関からは毎日のように明るい声が響いていました。体育館は第三期工事の完了に先立ち、72年に完成しました。



2 1971年(昭和46年)第二期工事が完了
職員室、校長室や4室の普通教室などが入る新校舎が完成。現在では2階は主に1年生の教室として使われ、1階は完成当時と変わらず職員室などが入っています。一線校舎との渡り廊下もあるため、多くの生徒や教員でにぎやかなのは昔のままです。

校舎の歴史

町中の祝意の中で完成した現校舎からは多くの生徒が巣立っていきました。1948〜2025年度までで8897人を数え、ピーク時の1965年には230人を送り出しています。

一方、少子化の影響により97年から卒業生は2桁まで減少しました。4月から虻田中が移転する虻田小学校は、中学の開設の地でもあります。校舎の歴史は幕を閉じますが、「虻中」の歩みはこれからも続いていきます。

虻田中の現校舎の建設工事は第一〜三期に分けて進められ、1975年に完成しました。資材の不足や高騰の影響などで完成まで長引いたこともあり、同年に発行した落成記念誌には生徒の喜びの声が寄せられています。当時の生徒会長・妻木治さんは入学時は体育館が無かったため、図書館で入学式を行った記憶を振り返り、校舎の完成を祝っています。

語り続ける「虻中」の歴史



洞爺湖町の歴史を様々な分野から追い駆けている虻田郷土研究会（高清水幸夫会長）。虻田小学校への移転を前に、昭和を中心とした虻田中学校の歴史をまとめました。

虻田中の開校から校舎の建設、卒業生・学級数の推移、学校文化の移り変わりなどについての研究成果を冊子にしました。部活動については、古い写真などから開校から間もない1948年には野球部が活動していたことが分かり、その他にもバレー部、バスケットボール部など多彩な



運動部が活動していました。文科系では、吹奏楽部の前身となったとみられる虻田中学校吹奏楽団が56年10月から練習を開始。同部は、現在では生徒に人気の部活動として、学校生活には欠かせない存在となっています。

2月に開かれた座談会に出席した研究会メンバーは全員が虻中OB。昔の生徒の集合写真や修学旅行で撮った一枚を見ながら、慣れ親しんだ校舎との別れを惜しんでいます。

3年生に聞いてみました！ 思い出の場所

この3月で卒業を迎える3年生。中学生生活を過ごした校舎に詰まっている思い出を語ってもらいました。

高木乙葉さんにとって体育館は特別な場所。バレー部で活動し、2年生後期からの1年間はキャプテンを務めました。汗を流した後は年季の入った床を磨き、大切に使用した思い出の場所。「学校行事も体育館ですることが多くて、楽しい時間を過ごしました」と振り返ります。

廣岡郁翔さんは、3年間で過ごしたいつもの教室と廊下が特別な場所になりました。学校祭の準備では、ダンスや合唱の練習にも使い、仲間と多くの時間を過ごしました。「準備の過程が面白くて、3年生の間に特に協調性が高まったと思います」と笑顔を見せます。

およそ半世紀に渡り、今の校舎がくれたかけがえのない思い出は今後も消えることはありません。



たくさんの思い出をくれた教室



部活に励んだ体育館